

Liberal Arts Letter for Freshmen



ハイライト:

- ・ 新入生の皆さんへ
- ・ SNS利用にあたって
- ・ からだやこころの不調に気づいたら
- ・ 障害学生サポートルームより
- ・ キミもGFL生になろう!
- ・ 学生広報チーム「学生広報大使」を募集しています!
- ・ 教務システムを使いこなそう
- ・ キャンパスライフにおける注意事項について

新入生の皆さんへ

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これから大学生としての生活が始まります、我々教職員も皆さんと一緒に勉強にいそしめる環境を整え、大学生活が楽しく有意義なものとなるように協力していきたいと思います。

入学前は、入試合格が最終目的でしたが、これからは学問がテーマですので、広がりがあり、奥行きも深く、多くの学生さんが、新しい挑戦に胸を膨らませていることでしょう。大学生活は、学業に限らず、高校時代の仲間から離れ、新しい学友、部活動等、さらに下宿生活など大きな変化があり、初めて親から離れて生活を始める学生さんもいるかもしれません。この生活の変化による困難な側面も、新しい友人を見つけることで楽しい変化として前向きに体験できると良いと思います。

ところで、大学受験が終わり、入学試験に合格した途端に勉強の時間は激減したのではないのでしょうか。大学では大学教育改革のために多くのデータを利用しています。その中で最も気になる事実として、一年次の成績がその後の成績に大きく関係しているとするものがあります。たとえば一年次の成績が悪いと、その後の成績を向上させていくことが困難であるという全体の傾向です。

私の経験でも日ごろから勉強にい

そしむのではなく、試験前に詰め込みで試験勉強をするという方式になっていたように反省しています。

生活習慣はおのずと勉強を中心に時間も多く取れていたと思います。入学後もこの勉強の生活習慣をこれを機会に考えてみてください。生活習慣病という疾病は、慢性的な不健康な生活習慣や生活態度が、徐々に身体の健康状態を蝕んでいくことから名前が付けられています。すなわち、健康に留意した生活習慣を送ることは病気を遠ざけることを意味します。学習における適切な生活習慣とは、人それぞれの方法があると思います、自分が必要であると納得するもので良いと思います。毎日英文論文を一つは読むことを習慣にしていた高名な研究者もいらっしゃいました。私は、興味ある学習テーマについて、教科書や教員の授業内容をそのまま記憶するのではなく、自分で納得できるまで調べる習慣などを推奨したいと思います。優れた生活習慣は、学習に限らず、徐々に改善をもたらし、本人が努力をしていると自覚しなくても簡単に困難なことに対応できていくことに繋がると考えています。

是非このすばらしい環境のキャンパスで、将来の基盤となる学業の習慣を身に付けていただくことを祈念して、私の挨拶といたします。



大学教育・学生支援機構長
理事(教育・企画担当)
峯岸 敬

目次

新入生の皆さんへ	1
SNS利用にあたって	2
からだやこころの不調に気づいたら	2
障害学生サポートルームより	3
キミもGFL生になろう!	4
学生広報チーム「学生広報大使」を募集しています!	5
教務システムを使いこなそう	6
学生センター担当窓口	6
キャンパスライフにおける注意事項について	7

SNS利用にあたって



総合情報メディアセンター
教授 横山 重俊

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。LINEやTwitter、InstagramなどのSNSはすっかり世の中に定着し、皆さんは、友人などのコミュニケーションや、情報発信に頻繁に利用していると思います。SNSは必要な時に多くの人から情報を収集でき、同時に多くの人に手早く情報を発信できるツールとして、大変便利なものです。一方で、使い方に注意しないと自分だけでなく他人にも大きな被害がおよびます。そうならないために、以下に主な注意点を三つ書きました。

1. SNS上の情報は、正しいものばかりとは限らない。

デマや不確かな情報も掲載されているので、無批判に誤った情報を拡散し、あなた自身が加害者にならないようにしましょう。

2. SNS上においても、当然社会的ルールを守る。

他人が写りこんでいる写真や、他人を見かけたという情報も、本人の

承諾なしに書き込んではいけません。当然ですが、誹謗中傷、差別的な内容、違法行為を煽る情報なども公開するものではありません。

3. SNS上の情報は、一つ間違えば世界中に広まるという前提で発信する。

書き込んだ情報が、どこまで公開されるか把握していますか？「読めるのは友達だけ」と思い込んでいませんか？今一度確認してみましょう。

大学では高校と比べて、機密情報を知る機会も増えます。アルバイト先、教育実習、病院等での実習、研究活動、インターンシップなどで知り得た機密情報はもちろん公開してはいけません。不用意に書き込んだ情報が一旦拡散されると、インターネットから完全に消去することはできません。

SNSは、友人や社会とのコミュニケーションを加速する便利なツールですが「書き込んだ情報への責任は自らにある」をよく理解して利用しましょう。

からだやこころの不調に気づいたら



健康支援総合センター
教授 竹内一夫

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

健康支援総合センターは、学生皆さんのからだやこころの健康に関する相談を受け、さまざまな支援を提供する場所です。

からだやこころの不調は、環境が変化したときに起こりやすく、自分でもよくわからない内に発症したり、悪化したりするので注意が必要です。

センターでは、毎年、健康診断時の問診表の結果を基に、心身の不調が疑われる学生に連絡をして、医師やカウンセラーによる面接を実施しています。

連絡がありましたら、自分のからだやこころの状態を知る良い機会として、一度、センターに来てください。必要に応じて医療相談やカウンセリング、外部の医療機関も紹介しています。

また、身体的な不調に合わせて、修学に困難さを感じるなど大学生活に支障が出る可能性がある場合には、障害学生サポートルームとも連携をとって、学生の皆さんのサポートを行っていきます。新しい生活が始まり、多くの学生が期待とともに緊張や不安を感じています。睡眠や食事のパターンが大きく変わる学生もよく見られます。症状が深刻になる前に、早めに、そし

て気軽にセンターに相談に来てください。相談については、予約制になっていますが、問合せは随時受け付けています。私達スタッフは、皆さんが送る学生生活を充実したものにできるように、お手伝いをしていきますので、積極的に活用してください。

なお、新型コロナウイルス対応と言った最新の医療・保健情報については、健康支援総合センター又は厚生労働省のホームページをご覧ください。

障害学生サポートルームより

群馬大学では、現在、50人程度の障害や病気のある学生が学んでいます。障害というと聴覚障害や視覚障害、肢体不自由といった身体的な障害をイメージするかもしれませんが、入学後にメンタルヘルスの調子を崩してしまった学生、得意な能力と不得意な能力がアンバランスで学業にうまく取り組めないでいる学生、あるいは修学に影響のある持病のある学生なども含め、バラエティ豊かな学生が利用しています。

大学生活を円滑に送る上でどのような工夫や調整が必要かは学生によって大きく違いますので、障害学生サポートルームでは個別の相談を丁寧に行い、その人に合ったプランを提案しています。「支援を受ける」というと、とても特別なことと感じる人も多いと思いますし、もしかしたら「甘えではないか」と考える人もいるかもしれません。しかし、視力の低い人が眼鏡をかけるように、骨折したときに松葉杖を使うように、生活上の不便を補うためにさまざまな工夫を凝らすことは何ら特別なことではありません。

障害学生サポートルームでは、障害に起因する学生生活上の困難を最小限にして、学生の持つ本来の力を十分に発揮できるようにサポートをします。学生生活を送る中で何らかの困り感を抱えている方、気軽に下記までご相談ください。また、障害学生サポートルームでは、障害のある学生が学びやすい環境づくりに協力してくれる「学生サポーター」を随時募集しています。多様な学生と一緒に大学での学びを深めたい方、卒業後も役立つ専門的な技術を身につけたい方も、ぜひご来室ください。

【障害学生サポートルーム】

〔荒牧キャンパス〕2号館 GB103

〔桐生キャンパス〕1号館 学生支援係

開室時間：平日 8:30～17:15

TEL：027-220-7114（荒牧・昭和）

0277-30-1058（桐生・太田）

E-mai：a_dis-support@ml.gunma-u.ac.jp

（全キャンパス共通）



▲ 障害学生サポートルームの様子



▲ 障害学生向けのノートテイク

キミもGFL生になろう！

「GFL」とは、「自国及び他国の文化・歴史・伝統を理解し、外国語によるコミュニケーション能力を持ち、国内外において主体的に活動できる人（グローバルフロンティアリーダー（GFL）」を育成するコースです。

GFLでは、通常授業以外に多彩なプログラムが受講できます。例えば、早期から専門領域に触れられるよう「特別講演会」や「企業訪問&先輩ゼミ」などがあります。

また、特別にアレンジした海外留学プログラムや、「グローバル交流セミナー・サマーセミナー」、「外国人教員による特別プログラム」により、幅広い国際的視野と語学力を身に付けます。

将来グローバルに活躍したい人、自分の能力を伸ばしたい人を大歓迎します。



▲ オーストラリア・ディーキン大学短期留学



▲ 外国人教員による特別プログラム



▲ 成果報告会

【GFLに関する問い合わせ先】

学務部教務課

（荒牧キャンパス 2号館 1階 3番窓口）

E-mail : gfl-admin@ml.gunma-u.ac.jp

※詳細はGFLホームページをご確認ください。

<http://gfl.jimu.gunma-u.ac.jp/>



学生広報チーム「学生広報大使」を募集しています！

群馬大学では、学生ならではの視点を本学の広報活動に活かしてもらうとともに、その経験を学生自身の成長にも繋げてもらうことを目的として、学生広報チーム「学生広報大使」を2017年に発足させました。現在の登録者数は学部生、大学院生あわせて約280名で、学部、学年も多岐に渡っています。

【活動内容】

- オープンキャンパスの企画・運営
- 大学オリジナルグッズのプロデュース
- 大学広報誌の編集
- 高校における広報活動への参加
- 進学相談会での対応
- SNSを通じた大学の魅力発信
- ★その他にも学生主体のアイデアが形になっています！これまでの活動レポートは「学生広報大使の活動ページ」をチェックしてください！



学生広報大使が関わったイベントの来場者からは、「明るい学生さんたちが多くてとても楽しそうな姿を見て、私も群大に入りたいという思いが強くなりました！」「学生さんが丁寧に対応してくださってとても充実した見学になりました！」と好評だったほか、学生広報大使からも、「やり

がいを感じた」、「自分と向き合う機会にもなった」といった感想が寄せられました。

新入生のみなさんの中にも、学生広報大使の活き活きとした姿を見て、本学への入学希望を強くした方がいることでしょうか。今度は皆さんが、群馬大学の魅力を発信してみませんか！？

学生広報大使は随時募集しています。学業等の都合に合わせて、参加可能なイベント等を選んで活動できますので、興味を持った方はお気軽に応募してください！

【応募方法】

学生広報大使応募フォームより登録をお願いします。応募者には、「任命証カード」と「学生広報大使オリジナルストラップ」を差し上げます！

※<https://forms.gle/oapPLsZPiTcXsK49A>

【問合せ先】

総務部総務課広報係

E-mail : s-public@jimu.gunma-u.ac.jp



▲ オープンキャンパス「GU'DAY2019」女子カフェ



▲ 進学相談会

教務システムを使いこなそう

教務システムとは、Web（パソコン、スマートフォン等）から、授業に関することをはじめ、試験日程、成績参照、学生の呼び出し等に至るまで、非常に重要な情報をお知らせするために導入しているシステムです。学生の皆さんは、毎日必ず確認する習慣をつけてください。

操作方法の詳細は、全学オリエンテーションで配付しましたマニュアルを読んでください。（マニュアルは教務システム上にも掲載してあります。）

また、教務システムを終了するときは、必ず「ログアウト」ボタンをクリックして閉じましょう。ログアウトをしておくことで、セキュリティが向上します。

◆令和2年度 履修登録期間（厳守）

前期 4月20日（月）～5月1日（金）

後期 10月1日（木）～10月14日（水）

登録した内容は、履修登録期間を過ぎると修正・追加ができません。期間内に入力間違いや登録漏れがないか必ず再確認してください。

◆ポートフォリオ

皆さんの学修過程での各種の成果を収集し、整理したもののことです。学生生活の中で考えたことや感じたこと、経験したことや学修したことを、記録(証拠)として残すことにより、指導教員等から指導・助言が受けられ、今後の修学に活用できる仕組みとなっています。

前期は、履修登録期限と同じ5月1日（金）までに入力してください。

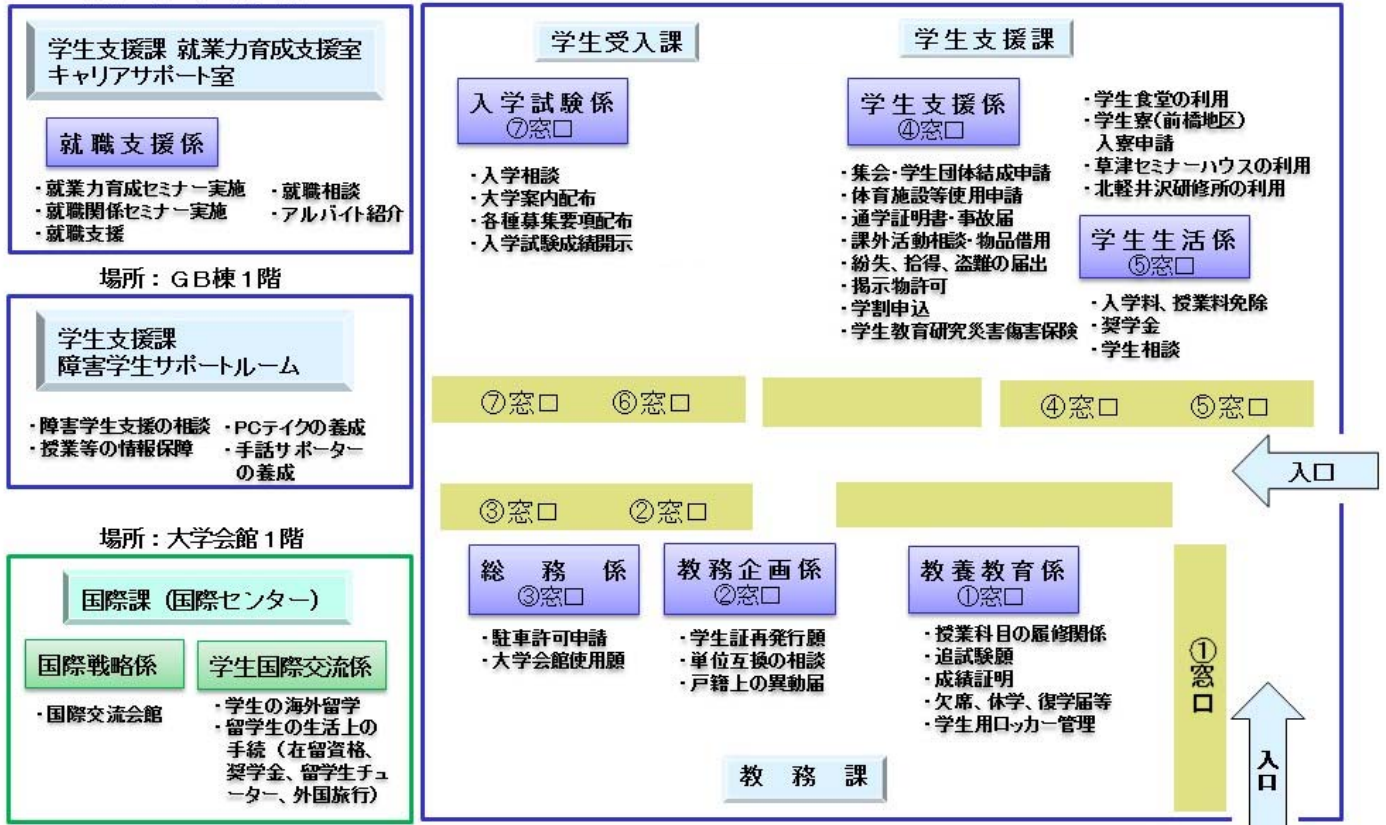
担当窓口(係):学生センター

【窓口受付時間】

平日 8:30～17:15

場所：学生食堂南西側

場所：教養教育GA棟



キャンパスライフにおける注意事項について

【飲酒について】

お酒は昔から「百薬の長」といわれるように適量であれば、食欲増進やストレス解消、疲労回復など、色々な効用があります。しかし、適量を超えると肝臓や膵臓などの臓器障害にも陥りやすくなります。また、イッキ飲みなどで急激にアルコールを摂取すると血液中のアルコール濃度が急激に高くなり、呼吸中枢が麻痺して最悪の場合は死に至る場合もあります。アルコールを受け付けない体質の人もいますので、お酒の無理強いはもちろん、イッキ飲みは絶対に行わないでください。なお、未成年者の飲酒は成長期にある脳の神経細胞への影響が大きく、成長障害等への危険性が高くなりますので、未成年者は絶対にお酒を飲んではいけません。

【夜間騒音】

大変残念なことですが、毎年、近隣住民等から騒音苦情が大学に寄せられてきます。特に夜間帯での大声、自動車、バイクの音などは注意してください。社会を構成する大学の一員として、近隣住民に迷惑の掛からない行動を心がけてください。

【危険ドラッグ】

危険ドラッグの乱用者が犯罪を犯したり、重大な交通死亡事故を引き起こす事件が後を絶たず、深刻な社会問題となっています。一時の興味本位等の安易な気持ちから大学生活やその後の人生が台無しにならないよう絶対に関わらない、使用しないでください。

【駐輪場】

たった1台の違法駐輪のため多くの方が迷惑しています。特に通行帯への駐輪は歩行者、障害者の妨げだけでなく、命に関わる緊急時の救急、消防活動や災害時の避難の妨げにもなります。みんなが駐輪しているのだから自分だっていいだろう、とは思わずに自転車は必ず決められた場所に駐輪してください。

【駐車場】

体育館前やテニスコートの横など、正規の駐車場でない場所に自動車が駐車してあることがあります。通行及び緊急時の妨げとなりますので、自動車は定められた場所に駐車してください。

【交通事故の防止】

自動車での交通事故が起きる多くの原因は「前方不注意」、「スピード超過」、「一時停止違反」など初歩的なものばかりです。また、運転中での携帯電話・スマートフォンによる通話や、メール等の画面確認、送受信操作による事故も多発しております。交通ルールを遵守し、安全運転を心がけてください。

自転車での雨天時の傘差し走行、無灯火走行、音楽プレイヤーを使用しながらの運転等は重大事故に繋がりますので、絶対にやめましょう。

【学生の違法行為等に関する処分】

大学は社会に出る前の最後の学校生活の場です。本学の学生として、自覚と責任をもって大学生活を送ることが大切です。残念ながら、未成年者の飲酒、窃盗、盗撮、無免許運転、試験における不正行為などを行う学生が少なからずいます。不正行為や違法行為等を行った場合は、停学や退学等の処分を受けることとなります。

停学等の処分となった場合、留年になることもあります。また、保証人（保護者を含む。）に通知するとともに、懲戒の内容及び事項などを学内に告示します。さらに、奨学金や授業料免除の交付停止や取消しになることもあります。

詳細は、大学ホームページ「教育・学生生活」/「その他関連情報」をご覧ください。

【その他】

その他、大学生活を送る上で注意すべきことについて、全学オリエンテーション時に別途配付した冊子「学生生活は危険がいっぱい」を読んで確認してください。

大学教育・学生支援機構

令和2年4月発行
発行元 学務部教務課

〒371-8510
前橋市荒牧町4-2
電話: 027(220)7128
FAX: 027(220)7620

※Webサイトもご覧ください。
<http://www.gunma-u.ac.jp/student>

